

平成20年度

相模原市立博物館 年報



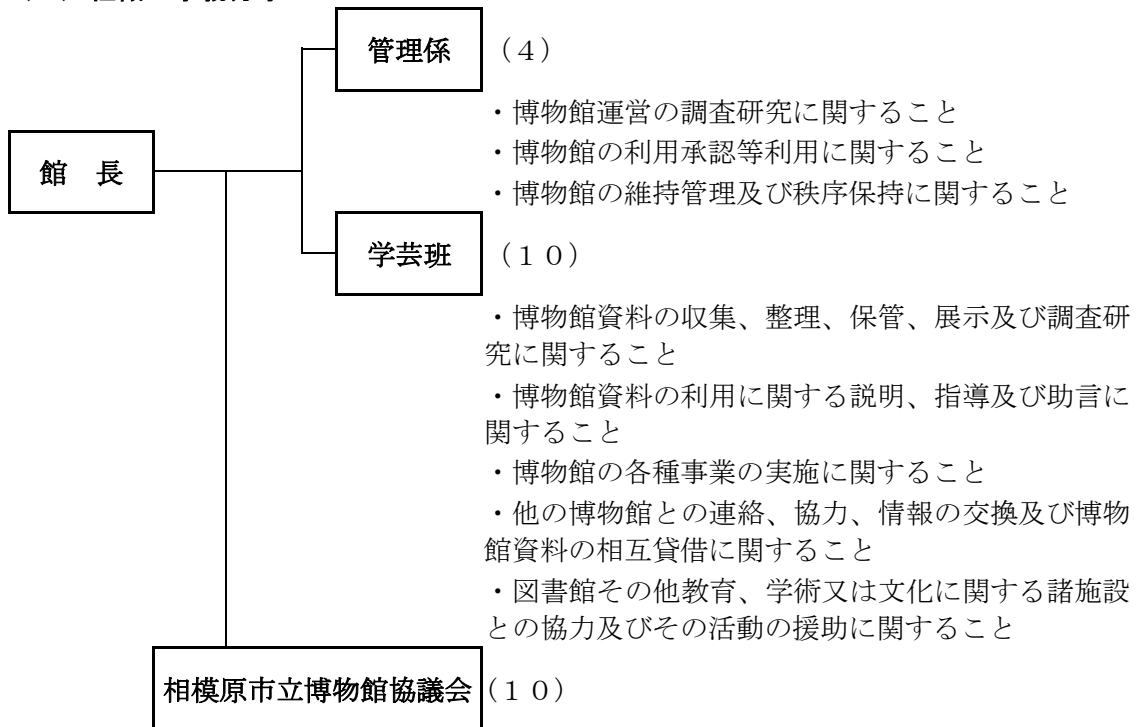
相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成21年4月1日

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

館長	参事 (兼) 館長	大貫 英明	井上 明夫
管理係	主幹 (兼) 管理係長	武井 邦夫	武井 邦夫
	主査	天野 光洋	天野 光洋
	主査	岡本 正明	岡本 正明
	主任	高取 英徳	高取 英徳
学芸班	担当課長	杉本 芳秋 (天文)	杉本 芳秋
	(学芸班担当) (学芸員)		
	副主幹 (学芸員)	守屋 博文 (動物)	
	指導主事	上原 徹也 (近現代)	上原 徹也
	指導主事	平能 克泰 (天文)	平能 克泰
	主査	有本 雅之 (天文)	有本 雅之
	主査		千葉 勝也
	主査 (学芸員)	加藤 隆志 (民俗)	加藤 隆志
	主任 (学芸員)	秋山 幸也 (植物)	秋山 幸也
	主任 (学芸員)	河尻 清和 (地質)	河尻 清和
	主任 (学芸員)	河本 雅人 (考古)	河本 雅人
	主事 (学芸員)	塩谷 裕久 (情報)	塩谷 裕久
	非常勤特別職 学習指導員 2 名、博物館資料調査員 4 名		

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期 2 年（平成 19 年 1 月 20 日～平成 21 年 1 月 19 日）

氏 名	備 考	選出区分
岡 田 利恵子	小学校総括教諭	学校教育
田 口 雅 代	中学校教諭	
坂 口 滋 皓	高等学校教諭 会長	
市 川 三 郎	市民文化財研究協議会	社会教育
田 中 美奈子	市立小中学校 P T A連絡協議会	
中 村 ひろ子	神奈川大学大学院特任教授	学識経験者
松 島 義 章	放送大学客員教授 副会長	
中 川 貴 雄	宇宙科学研究本部教授	
石 井 千太郎	一般公募	
中 藪 規 正		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6 月 4 日（水）	平成 19 年度事業報告 平成 20 年度事業計画 常設展示大規模改修（人文分野）について
2	7 月 23 日（水）	展示計画案の協議 展示計画案全体を見ての手法などについて
3	10 月 1 日（水）	常設展示リニューアル計画案について 「博物館常設展示大規模改修事業」（答申案）について
4	1 月 21 日（水）	博物館常設展示大規模改修事業について（答申） 博物館常設展示大規模改修事業に係る市長等への中間報告について 博物館ネットワーク計画「相模原どこでも博物館」について（諮問）

3 施 設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 9 9 9. 4 8 m ²
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5, 0 8 1. 0 3 m ²
オ 延床面積	9, 5 1 0. 2 4 m ²

	用 途 ・ 面 積	主 な 室	内 容
展 示・教 育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分りやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙の中のわたしたち」をテーマに、地球・太陽・恒星について理解を深められるよう展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サビースコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に250席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保 管・研 究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理・加工・修理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を将来にわたって、安全・確実に保存するための収蔵庫が設置されている。
管 理・共 用	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成20年7月18日、平成21年3月26日

平成 20 年度相模原市立博物館年報

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	20年度予算額	21年度予算額	財源内訳	20年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	13,600	2,000	一般財源	13,600
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	238,069	230,158	一般財源	218,612
						特定財源	19,457
計				251,669	232,158		

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	13,600	経費内訳	20年度	21年度
		1 施設修繕料	13,600	2,000
計	13,600	計	13,600	2,000

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	9,821	経費内訳	20年度	21年度
0 4 共済費	1,270	1 博物館協議会経費	512	532
0 8 報償費	6,516	2 施設運営費	92,340	86,867
0 9 旅費	1,038	(1) 資料収集保存経費	5,823	5,264
1 1 需用費	63,611	(2) 資料調査研究経費	16,154	13,311
1 2 役務費	1,004	(3) 展示・教育普及事業経費	17,227	19,427
1 3 委託料	133,304	(4) プラネタリウム事業経費	52,718	48,463
1 4 使用料及び賃借料	19,438	(5) その他運営費	418	402
1 8 備品購入費	1,904	3 施設維持管理費	144,029	141,332
1 9 負担金、補助及び交付金	132	4 一般事務費	1,188	1,427
2 7 公課費	31			
計	238,069	計	238,069	230,158
合計	251,669	合計	251,669	232,158

Ⅱ 教育普及

1 入館者数

(1) 20年度計 128,124人
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(2) 総 計 1,613,515人
(平成7年11月20日～平成21年3月31日)

(3) 詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	一般投影	全天周映画	学習投影	特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
20年4月	7,690	2,977	1,000	1,977	—	1,916	136	644	¥965,130	25	308
5月	11,955	5,581	1,859	3,233	489	7,128	94	1,201	¥1,753,210	27	443
6月	9,548	3,928	1,194	1,482	1,252	2,740	85	411	¥1,005,670	25	382
7月	10,385	3,959	1,782	1,665	512	3,185	148	593	¥1,187,270	27	385
8月	21,251	9,772	4,959	4,813	—	12,411	228	3,264	¥3,083,690	27	787
9月	9,310	3,219	1,341	1,504	374	4,607	108	1,541	¥1,025,600	24	388
10月	8,285	2,565	878	873	814	4,466	97	746	¥696,440	27	307
11月	12,531	6,464	1,294	982	4,188	7,451	129	704	¥796,840	26	482
12月	6,620	3,258	629	1,008	1,621	—	69	352	¥593,660	22	301
21年1月	8,949	3,230	1,123	1,426	681	1,652	34	545	¥865,800	24	373
2月	11,216	3,458	1,203	958	1,297	6,688	86	589	¥744,060	23	488
3月	10,384	3,883	1,350	2,096	437	6,192	80	927	¥1,114,430	26	399
20年度計	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423

※(参考)開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
総 計	1,613,515	700,058	267,790	289,988	142,280	598,505	12,736	76,653	¥187,904,620	4,024	401

2 企画展・学習資料展等

(1) 企画展「星空の世界へ」

ア 内 容 「星・星座」、「太陽」、「月」、「空を見上げると」、「天体観測機器」、「プラネタリウム」、「夢・情報コーナー」の7テーマにより、子どもから大人まで星空に親しむためのきっかけとなる各種の資料展示や天文現象等の情報を提供した。

イ 期 間 4月19日(土)～6月15日(日)

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 ポスター800枚、チラシ20,000枚、
星座早見製作セット10,000部

オ 関連事業 参加者総数：1,374人

4月27日(日) 天体観測室見学 参加者：98人
解説 有本雅之(当館職員)

4月29日(祝) ワークショップ「星づくり」 参加者：244人
指導 市民学芸員

5月3日(土) ワークショップ「光る星座パネルづくり」 参加者：170人
指導 市民学芸員

5月4日(日) ワークショップ「光る星座パネルづくり」 参加者：114人
指導 市民学芸員

5月5日(祝) ワークショップ「光る星座パネルづくり」 参加者：126人
指導 市民学芸員

5月6日(祝) ワークショップ「光る星座パネルづくり」 参加者：105人
指導 市民学芸員

5月11日(日) ワークショップ「光る星座パネルづくり」 参加者：160人
指導 市民学芸員

5月18日(日) プラネタリウム工作教室 参加者：48人
講師 有本雅之(当館職員)、平能克泰(当館指導主事)、
市民学芸員

5月25日(日) 記念講演会「星くずから地球そして月へ」 参加者：201人
講師 小久保英一郎(国立天文台准教授)

6月1日(日) 天体観測室見学 参加者：96人
解説 有本雅之(当館職員)

6月8日(日) 望遠鏡操作入門教室 参加者：12人
講師 有本雅之(当館職員)、平能克泰(当館指導主事)、
星を観る会

(2) 企画展「みてみて津久井ただいま調査中!!第1期～津久井地域の自然～」

ア 内 容 合併して新たに相模原市になった津久井地域は、関東山地南部や丹沢山地北部が含まれる自然豊かな地域であり、旧相模原市域比べて大きく異なる特徴を持つ。津久井地域の自然を、これまでの調査で明らかとなったことをも含めて、広く市民に紹介した。

イ 期 間 7月19日(土)～9月23日(祝)

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 ポスター1,250枚 チラシ26,000枚
リーフレット 15,000枚 (※第2期と共通)

オ 関連事業 参加者総数：1,464人

7月19日(土) クイズラリー 参加者：106人

7月21日(祝)	案内 市民学芸員 クイズラリー	参加者：175人
7月27日(日)	案内 市民学芸員 日曜講演会「丹沢山地の地質」 講師 青池寛氏(独立行政法人海洋研究開発機構)	参加者：133人
8月3日(日)	案内 市民学芸員 クイズラリー	参加者：209人
8月9日(土)	案内 市民学芸員 クイズラリー	参加者：330人
8月10日(日)	案内 市民学芸員 展示解説 解説 当館学芸員	参加者：35人
8月23日(土)	つくい探訪会「石老山」 講師 当館学芸員	参加者：23人
8月24日(日)	日曜講演会「丹沢のカエルやサンショウウオ」 講師 草野保氏(首都大学東京助教)	参加者：65人
8月27日(水)	展示解説 解説 当館学芸員	参加者：31人
8月30日(土)	案内 市民学芸員 クイズラリー	参加者：210人
9月13日(土)	案内 市民学芸員 展示解説 解説 当館学芸員	参加者：24人
9月14日(日)	案内 市民学芸員 クイズラリー	参加者：108人
9月27日(土)	案内 市民学芸員 つくい探訪会「発見!!初秋の陣馬山」 講師 当館学芸員	参加者：15人

(3) 企画展「みてみて津久井ただいま調査中!! 第2期～津久井地域の歴史と文化～」

ア 内 容 旧石器時代～中世、民俗、近世～近現代の構成で、津久井地域の歴史が
通史形式で概観できるように紹介した。

イ 期 間 10月4日(土)～11月30日(日)

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 ポスター1, 250枚 チラシ26, 000枚

リーフレット 15, 000枚

(※第1期と共通)

オ 関連事業 参加者総数：600人

9月28日(日) 日曜講演会「津久井、謎の石造文化圏」 参加者：132人
講師 大貫英明(当館館長)

10月13日(祝) つくい探訪会「戦国の風景・津久井城歴史探訪」
参加者：21人
講師 県立津久井湖城山公園パークセンター職員

10月19日(日) つくい探訪会「甲州道中歩き～民俗編～」 参加者：33人
講師 相模原市立博物館民俗調査会

10月26日(日) 日曜講演会「津久井の古文書調査ことはじめ」
参加者：128人
講師 神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問)

11月1日(土) 展示解説
解説 当館学芸員 参加者：15人

11月3日(祝) 繭うさぎ作り 参加者：80人

- 指導 市民学芸員
- 1 1 月 9 日 (日) つくい探訪会「歩いて出会える昔と今
ー城山町久保沢・谷ヶ原～中沢を訪ねるー」
参加者： 20 人
- 講師 城山町エコミュージアムを育てる会
- 1 1 月 15 日 (土) 展示解説 参加者： 16 人
- 解説 当館学芸員
- 1 1 月 23 日 (日) 日曜講演会「鈴木重光と内郷村調査～民俗調査ことはじめ～」
参加者： 83 人
- 講師 小島瓊禮氏 (琉球大学名誉教授)
- 1 1 月 24 日 (祝) 繭うさぎ作り 参加者： 72 人
- 指導 市民学芸員

(4) 学習資料展「～大地さんと未来さんが見つける～ちょっと昔のくらしⅤ

なつかしい学校と遊び

ア 内 容 収蔵されている資料を中心に、学校の授業で活用できるような道具やモノを展示し、昔のくらしについて紹介した。

イ 期 間 1 月 24 日 (土) ～ [平成 21 年 5 月 10 日 (日)]

ウ 観覧料 無料

エ 広 報 ポスター 400 枚、チラシ 27,000 枚

オ 事 業 参加者総数：980 人 (※平成 21 年度事業を含む。)

2 月 8 日 (日) 展示解説 参加者： 20 人

解説 上原徹也 (当館指導主事)

2 月 15 日 (日) ボンネットバス見学 参加者： 310 人

解説 渋谷裕史氏

2 月 22 日 (日) 記念講演会「わらべ歌が子どもを育てる」参加者： 62 人

講師 大熊進子氏 (町田コダーイ合唱団指導者)

3 月 1 日 (日) チャレンジ体験「昭和の遊び、道具にチャレンジ！」遊び体験

参加者： 81 人

指導 市民学芸員

3 月 8 日 (日) 展示解説 参加者： 30 人

解説 上原徹也 (当館指導主事)

3 月 22 日 (日) ボンネットバス見学 参加者： 180 人

解説 渋谷裕史氏

3 月 29 日 (日) チャレンジ体験「昭和の遊び、道具にチャレンジ！」道具体験

参加者： 77 人

指導 市民学芸員

[平成 21 年度]

4 月 12 日 (日) 展示解説 参加者： 15 人

解説 上原徹也 (当館指導主事)

4 月 19 日 (日) チャレンジ体験「昭和の遊び、道具にチャレンジ！」遊び体験

参加者： 95 人

指導 市民学芸員

4 月 26 日 (日) チャレンジ体験「昭和の遊び、道具にチャレンジ！」道具体験

参加者： 110 人

指導 市民学芸員

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) 特別講演会「花と昆虫～共生とだましあいの世界～」

- ア 内 容 花の色・形・香は、花粉を効率よく授受できるよう進化をとげたことを学んだ。
- イ 実施日 4月12日(土) 全1回
- ウ 参加者 138人
- エ 講 師 田中肇氏(フラワーエコロジスト)

(2) 民俗講座「民俗に親しむ会」(18年度～継続事業)

- ア 内 容 月に1回程度、館内の講義とフィールドワークを行い、民俗学的視点から地域を捉えていくことを学んだ。
- イ 実施日 4月19日(土)～3月14日(土) 全12回
- ウ 参加者 延べ 461人
- エ 講 師 加藤隆志(当館学芸員)

(3) 地質学講座「地質図入門～相模野台地編～」

- ア 内 容 相模野台地を例に台地の地質図を読みとるために必要な地質学の基礎を学習し、初歩的な地質図読図法について理解を深めた。
- イ 実施日 5月10日(土)～5月31日(土) 全4回
- ウ 参加者 延べ 71人
- エ 講 師 河尻清和(当館学芸員)

(4) プラネタリウム工作教室

- ア 内 容 プラネタリウムの歴史と仕組み等の講話とプラネタリウム工作を行い、天文への興味、関心を高めた。
- イ 実施日 5月18日(日) 全1回
- ウ 参加者 48人
- エ 講 師 有本雅之(当館職員)、平能克泰(当館指導主事)、市民学芸員

(5) 博物館日曜講演会

- ア 内 容 第4日曜日に外部研究者や当館学芸員等の講演、成果発表を行い、幅広い学術的視点や今日的課題等の学習機会を提供した。
- イ 実施日 5月25日(日)～2月22日(日) 全9回
- ウ 参加者総数：延べ 1,148人
- エ 演題・参加者・講師
- | | |
|-----------------------------|----------|
| 第68回「星くずから地球そして月へ」 | 参加者：201人 |
| 講 師 小久保英一郎氏(国立天文台准教授) | |
| 第69回「丹沢山地の地質」 | 参加者：133人 |
| 講 師 青池寛氏(独立行政法人海洋研究開発機構) | |
| 第70回「丹沢のカエルやサンショウウオ」 | 参加者：65人 |
| 講 師 草野保氏(首都大学東京助教) | |
| 第71回「津久井、謎の石造文化圏」 | 参加者：132人 |
| 講 師 大貫英明(当館館長) | |
| 第72回「津久井の古文書調査ことはじめ」 | 参加者：128人 |
| 講 師 神崎彰利氏(市史編さん室特別顧問) | |
| 第73回「鈴木重光と内郷村調査～民俗調査ことはじめ～」 | 参加者：83人 |
| 講 師 小島瓊禮氏(琉球大学名誉教授) | |

第 7 4 回「発掘された津久井城一御屋敷跡と本城曲輪の発掘調査」

参加者：150人

講 師 加藤勝仁氏（かながわ考古学財団）
野口浩史氏（神奈川県公園協会史跡解説主任）

第 7 5 回「250 万年前の相模原一中津層群の最新の研究成果から」

参加者：194人

講 師 河尻清和（当館学芸員）

第 7 6 回「わらべ歌が子どもを育てる」

参加者：62人

講 師 大熊進子氏（町田コダーイ合唱団指導者）

（6）望遠鏡操作入門教室

ア 内 容 天体望遠鏡の基本的な操作を行い、自分で気軽に天体観測ができる技術を学んだ。

イ 実施日 6月8日（日）全1回

ウ 参加者 12人

エ 講 師 有本雅之（当館職員）、平能克泰（当館指導主事）、星を観る会

（7）植物学教室「花の観察と植物画」

ア 内 容 植物をじっくりと科学的に観察し、それを水彩絵具で描く技法を学んだ。

イ 実施日 6月21日（土）、22日（日）全2回

ウ 参加者 延べ 43人

エ 講 師 豊田路子氏（植物画家）、秋山幸也（当館学芸員）

（8）夏休み子ども学習相談

ア 内 容 小中学生を対象に夏の自由研究などのアドバイスをした。

イ 実施日 7月19日（土）～8月31日（日）

ウ 参加者 延べ 135人

エ 講 師 当館指導主事、学芸員、学習指導員

（9）子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

ア 内 容 実験や観察を通して結晶成長や結晶形、硬度など、鉱物についての初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。

イ 実施日 7月25日（金）、8月1日（金）全2回

ウ 参加者 延べ 71人

エ 講 師 河尻清和（当館学芸員）

（10）自然教室「野草を使って草木染めに挑戦！」

ア 内 容 女子美術大学学生と相模原植物調査会会員を講師に、身近な植物を使って草木染めを行った。

イ 実施日 7月30日（水）、9月6日（土）全2回

ウ 参加者 延べ 38人

エ 講 師 女子美術大学学生、相模原植物調査会、秋山幸也（当館学芸員）

（11）スターウォッチング

ア 内 容 星空を一定の条件下で観察することにより、夜間照明などの環境について目を向けるとともに広く地球規模での環境保全の対策を市民と共に考えた。

イ 実施日 8月1日（金）、1月16日（金）全2回

ウ 参加者 77人

エ 講 師 有本雅之（当館職員）、平能克泰（当館指導主事）、プラネタリウム解説員
オ 協 力 相模原の環境をよくする会（事務局：市環境対策課）

（１２）夏休み親子天文教室

ア 内 容 望遠鏡の仕組み等の講話と望遠鏡工作、自作の望遠鏡で天体観測まで行うことで、天文への興味、関心を高めた。

イ 実施日 ８月６日（水）、７日（木）全２回

ウ 参加者 １０８人

エ 講 師 有本雅之（当館職員）、杉本芳秋（当館学芸員）、
平能克泰（当館指導主事）、星を観る会

（１３）かぐやビデオシアター（ＪＡＸＡ公開日）

ア 内 容 ＪＡＸＡ相模原キャンパス公開日にあわせ、かぐやビデオシアター及びパネル展「かぐや」「虫は宇宙で羽化できるか」、スタンプラリーを開催した。

イ 実施日 ８月９日（土）全１回

ウ 参加者 １，５８０人

エ 案 内 ＪＡＸＡ職員、当館職員

（１４）ペルセウス座流星群直前ガイド

ア 内 容 ペルセウス座流星群の極大を前に、流星観察の初心者ガイドを企画し、天文学宇宙に親しみ、自然に対する興味関心を高める機会とした。

イ 実施日 ８月１０日（日）全１回

ウ 参加者 ８８人

エ 講 師 福田茂（相模原市立上鶴間小学校教頭）、平能克泰（当館指導主事）、
白木浩介（東急コミュニティ）

（１５）つくい探訪会

ア 内 容 夏・秋季企画展の関連事業として、津久井地域の探訪会を行った。

イ 実施日 ８月２３日（土）～１１月９日（日）全５回

ウ 参加者総数：延べ １１２人

エ テーマ・参加者・講師

第１回「奇石怪石」石老山の石・草・虫

参加者： ２３人

講 師 当館学芸員

第２回「発見!!初秋の陣馬山」

参加者： １５人

講 師 当館学芸員

協 力 青木雄司氏（県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長）

第３回「戦国の風景・津久井城歴史探訪」

参加者： ２１人

講 師 県立津久井湖城山公園パークセンター職員

第４回「甲州道中歩き～民俗編～」

参加者： ３３人

講 師 相模原市立博物館民俗調査会

第５回「歩いて出会える昔と今

～城山町久保沢・谷ヶ原～中沢を訪ねる～

参加者： ２０人

講 師 城山町エコミュージアムを育てる会

（１６）市民学芸員基礎講座

ア 内 容 博物館の展示や普及事業のサポートや企画運営に関わるボランティアの養成をした。

- イ 実施日 8月27日(水)～10月1日(水)全6回
- ウ 参加者 延べ 96人
- エ 講師 当館職員

(17) サガミハラナイトミュージアムー夜の博物館へようこそー

- ア 内 容 天体観測や夜の自然観察などを実施するとともに、常設展示室も開放し、博物館への興味関心を深めた。
- イ 実施日 8月29日(金)全1回
- ウ 参加者 355人
- エ 講師 当館職員、市民学芸員

(18) 古文書初級講座

- ア 内 容 近世文書のうち高札、法令書、役人任命書などの領主の文書を通して、当時の農民支配のあり方を学んだ。また、甲州道中の助郷に関する文書や、村人の移動、村の市などを示す文書から村の生活を学んだ。
- イ 実施日 9月13(土)～10月25日(土)全6回
- ウ 参加者 延べ 175人
- エ 講師 原 和之氏(あじさい大学講師/津久井町史編さん専門委員)

(19) 考古学講座「発掘調査報告書を読んで、遺跡へ出かけよう！」

- ア 内 容 発掘調査報告書の読み方を学び、実資料の観察や、遺跡見学などを織り交ぜながら体験的に学習した。
- イ 実施日 9月21日(日)～10月26日(日)全4回
- ウ 参加者 延べ 110人
- エ 講師 河本雅人(当館学芸員)、相模原縄文研究会

(20) M-Vロケット実機展示完成記念講演会

- ア 内 容 相模原キャンパスのM-V実機展示完成にあわせ、広く市民に天文学の普及をねらい、当館において記念講演会を開催した。
- イ 実施日 10月11日(土)全1回
- ウ 参加者 130人
- エ 講師 森田泰弘氏(JAXA宇宙科学研究本部教授)

(21) 博物館クイズラリー

- ア 内 容 自然・歴史及び天文常設展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、広く市民に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 11月23日(日)、30日(日)全2回
- ウ 参加者 延べ 230人
- エ 案 内 市民学芸員

(22) 講演会「宇宙科学の最前線「かぐや」に迫る」

- ア 内 容 月周回衛星「かぐや」の現況等、宇宙科学の最前線について話を聞き、送られてきた月のハイビジョン映像を鑑賞した。
- イ 実施日 1月17日(土)全1回
- ウ 参加者 77人
- エ 講師 加藤學氏(JAXA宇宙科学研究本部教授)

(23) 子ども天文教室

- ア 内 容 青少年の自然科学への興味・関心に対応する講話・実習・見学を実施し、
天文学宇宙への関心を高めた。
- イ 実施日 3月7日、14日、21日、28日（土）全4回
- ウ 参加者 延べ 53人
- エ 講 師 奥田治之氏（JAXA宇宙科学研究本部名誉教授）、宗正康氏（JAXA
宇宙科学研究本部研究員）、平能克泰（当館指導主事）

（24）原始体験教室「親子まが玉作り教室」

- ア 内 容 まが玉作りを体験的に学習した。
- イ 実施日 3月15（日）、20日（金・祝）全2回
- ウ 参加者 延べ 16人
- エ 講 師 河本雅人（当館学芸員）、市民学芸員

（25）星空観望会

- ア 内 容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
- イ 実施日 金曜日（雨天曇天時、プラネタリウム休止時などを除く）
- ウ 参加者 1, 294人（30回実施）
- エ 講 師 当館職員、プラネタリウム解説員

（※）市史講演会 ※市史編さん室主催事業

- ア 内 容 相模原市史編さん事業に関連する内容で講演を行った。
- イ 実施日 6月21日（土）、3月21日（土）全2回
- ウ 参加者総数：延べ 236人
- エ 演題・参加者・講師
- | | |
|------------------------|-----------|
| 「戦後相模原の都市化と市民生活の変容」 | 参加者： 75人 |
| 講師 浜田弘明氏（桜美林大学教授） | |
| 「日本歴史の中の相模原－津久井地域－(1)」 | |
| 講師 神崎彰利氏（市史編さん室特別顧問） | 参加者： 161人 |

4 プラネタリウム・全天周映画

（1）平成20年度観覧者合計 52, 294人

（2）一般投影（プラネタリウム）

- ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約50分）
- イ 番組 「太陽美術館 光と影のシンフォニー」
〔平成20年1月26日（土）〕～7月13日（日）
「未知の惑星Xをさがせ」
7月19日（土）～10月19日（日）
「まだ見ぬ宇宙の隣人をもとめて ー青き空の彼方にー」
10月25日（土）～平成21年1月18日（日）
「月ってステキ！」
1月24日（土）～〔6月21日（日）〕
- ウ 開始時間 平日…午後3時50分
土・日・祝日・特別上映期間…午後1時30分と午後3時50分
- エ 観覧者 18, 612人

(3) 全天周映画

- ア 内 容 大型フィルム使用の映画作品を上映（所要約 50 分）
- イ 番 組 「ダイナソーDX パタゴニア・巨大恐竜の謎」
〔平成 19 年 10 月 20 日（土）〕～ 4 月 13 日（日）
「とびだせ！未来のどうぶつたち」
4 月 15 日（火）～ 8 月 31 日（日）
「オープン・ユア・アイズ ～エリーのふしぎな探検～」(特別上映)
7 月 19 日（土）～ 8 月 31 日（日）
「ウォーキング・オン・ザ・ムーン」
9 月 2 日（火）～平成 21 年 1 月 12 日（祝）
「サンタ vs. スノーマン」(特別上映)
12 月 20 日（土）～平成 21 年 1 月 12 日（祝）
「インド：トラの王国」
1 月 14 日（水）～〔6 月 21 日（日）〕
「まじめにふまじめかいけつゾロリ宇宙たんけん大さくせん」(特別上映)
3 月 20 日（祝）～〔4 月 5 日（日）〕
- ウ 開始時間 平日…午後 2 時 40 分
土・日・祝日・特別上映期間…午前 10 時 50 分と午後 2 時 40 分
- エ 観覧者 22,017 人

(4) 学習投影

- ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番 組 小中学校向け「月の形と動き」
「星の動き（夏／冬）」
「空を見上げると（夏／冬）」
「太陽と惑星」
「太陽系の仲間たち」
「月の形と動き」
幼児向け 「うちゅうの七にんきょうだい」
「ピーターパンのぼうけん」
- ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影
- エ 観覧者 11,665 人

(5) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

- | | |
|---------------------|---------|
| ビデオ作品年間視聴回数 | 計 654 回 |
| DVD ライブラリー作品年間視聴回数 | 計 593 回 |
| CD-ROM 文庫のソフト年間閲覧回数 | 計 75 回 |

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成 任期 2 年（平成 20 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

氏 名	備 考
高 橋 純	千木良小学校総括教諭 委員長
山 口 和 弘	弥栄中学校教諭 副委員長
畠 山 智 也	谷口台小学校教諭
木 村 毅	弥栄小学校総括教諭
溝呂木 義 則	新宿小学校総括教諭
田 中 泰 子	陽光台小学校総括教諭
松 島 和 博	田名中学校総括教諭
清 水 久 也	大沢中学校総括教諭

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7 月 2 5 日（金）	委員長・副委員長選出 第 6 期研究会構想検討 館内施設及び夏季企画展見学
2	1 1 月 1 1 日（火）	「博物館貸し出しキット」検討 秋季企画展見学
3	2 月 1 7 日（火）	「博物館貸し出しキット」について 質疑・応答 次年度の流れの確認 学習資料展見学

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等
- ウ 博物館 NEWS（V o l . 5 1 ～ V o l . 5 4）
- エ 「相模原市立博物館研究報告第 1 8 集」

(2) 有償刊行物一覧 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売

売上総計 251,350 円

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
----	------	------	------

ア、特別展・企画展図録等

郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	7 11	完売
江南の至宝	¥1,300	8 2	完売
相模原の昆虫ー身近にいる小さな仲間たちー	¥350	8 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	8 11	完売
絵図から地形図へー近代地形図の誕生と発展ー	¥2,550	9 7	完売
太陽系ー母なる太陽とその家族を巡るー	¥700	9 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	10 9	完売
水生昆虫の世界ー水の中の小さな虫たちー	¥1,200	11 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	11 10	完売
花を描き、花を知るー植物画の魅力ー	¥1,200	12 7	完売
幕末・維新の相模原ー村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たちー	¥1,500	12 10	完売
星の測量ー角度をはかり、位置をもとめるー	¥700	13 7	5
”道”再発見ー道の役割とその移りかわりー	¥1,500	13 10	8
昆虫のふしぎ	¥500	14 7	6
水晶ってすばらしい！ーその美と実用の魅力ー	¥1,000	15 7	7
晃嶺の百花譜	¥1,500	16 7	5
相模原ーその開発と変貌ー	¥800	16 10	25
地球 46 億年	¥900	17 7	6
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	18 10	24

イ、報告書等

研究報告第 7 集 1999	¥850	10 3	完売
研究報告第 8 集 2000	¥850	11 3	完売
研究報告第 9 集 2001	¥900	12 3	完売
研究報告第 10 集 2002	¥900	13 3	完売
研究報告第 11 集 2002	¥850	14 3	完売
研究報告第 12 集 2003	¥900	15 3	2
研究報告第 13 集 2004	¥900	16 3	3
研究報告第 14 集 2005	¥900	17 3	0
研究報告第 15 集 2006	¥1,050	18 3	3
研究報告第 16 集 2007	¥1,150	19 3	3
研究報告第 17 集 2008	¥1,150	20 3	33
研究報告第 18 集 2009			
資料集 順席 (慶応三年)	¥800	10 3	完売
博物館資料調査報告書 古山の生業と伝承	¥600	10 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	10 3	完売
地図資料目録Ⅰ 相模原市作成の地図	¥1,000	11 3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	12 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	13 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	14 3	7
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	15 3	4
資料目録 5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	15 3	1
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	17 3	4
博物館所蔵古文書目録	¥900	17 3	3
境川流域民俗調査報告書	¥500	17 3	完売

博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	20	3	4
ウ、展示解説書				
常設展示解説書	¥1,000	8	11	100

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

また、Yahoo JAPAN!、livedoor、@nifty、BIGLOBE 各サイトへイベント情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

J-COM、FMさがみなど博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月5日～9月30日の内実質8日間に20人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数	
歴史	学習院大学	1	動物	東京造形大学	1	
	中央大学	1		麻布大学	1	
	立正大学	1		女子美術大学	1	
考古	首都大学東京	1	植物	首都大学東京	1	
	専修大学	1		東海大学	1	
	駒澤大学	1		関東学院大学	1	
民俗	清泉女子大学	1	地質	首都大学東京	1	
	首都大学東京	1		日本大学	1	
	学習院大学	1		東洋英和女学院大学	1	
			天文	帝京大学	1	
				昭和女子大学	1	
					計	20

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	6	208	8月	2	138	12月	18	1,721
5月	12	787	9月	5	724	1月	18	1,189
6月	33	2,158	10月	11	1097	2月	41	2,741
7月	10	564	11月	46	4,317	3月	13	626
						年計	215	16,270

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 延べ 74 件 3,603 人

演題等	依頼者	月 日	場 所	担 当	人数
相模原の歴史	市職員課	4 月 3 日	職員研修所	大貫英明	100
相模原市津久井地域の土地の成り立ちを理解しよう	さがみはら緑の風	4 月 27 日	市立環境情報センター	河尻清和	19
陣馬山で春の草花を楽しもう	県立陣馬自然公園センター	5 月 16 日	県立陣馬自然公園センター	秋山幸也	20
田名向原遺跡の特徴	相模原市文化財調査・普及員	5 月 23 日	市立博物館	大貫英明	31
総合的学習「プールに住む生き物を観察しよう」	市立大沼小学校	5 月 28 日	市立大沼小学校	守屋博文	114
森のお応えをみつけよう	NPO 法人 相模原こもれび	5 月 31 日	こもれびの森	秋山幸也	21
谷戸はどうしてうつくしいのか？ 風景の意味を考えよう	川名自然フォーラム	6 月 7 日	藤沢市労働会館	秋山幸也	12
おやこ自然たんけん教室「昆虫のことを知ろう」	座間市立東地区文化センター	6 月 8 日	市立博物館	守屋博文	25
植物自然科学特別講義「水辺の環境と水生昆虫」	日本大学	6 月 14 日	日本大学生物資源科学部	守屋博文	40
考古学で分かること分らないこと	考古学の会	6 月 18 日	市立博物館	大貫英明	20
総合学習「川の観察」	市立夢の丘小学校	6 月 20 日	八瀬川	守屋博文	160
古民家園事業「天然理心流と相模原」	相模原市文化財調査・普及員	6 月 22 日	古民家園	大貫英明	15
相模湖生きがい大学「相模湖町の民俗・概説」	市相模湖福祉課	6 月 25 日	市立相模湖老人福祉センター	加藤隆志	22
川の生き物をさがそう	NPO 法人 境川の斜面緑地を守る会	6 月 28 日	境川	守屋博文	40
理科天文分野の学習	市立大野台中央小学校	7 月 1 日	市立大野台中央小学校	平能克泰	144
理科「夜空を見よう」学習	市立作の口小学校	7 月 1 日	市立作の口小学校	平能克泰	97
体験的道德の学習「相模原の戦争や歴史」	市立中央中学校	7 月 11 日	市立中央中学校	上原徹也	281
理科天文分野の学習	市立清新小学校	7 月 11 日	市立清新小学校	平能克泰	146
相模原の石造物と景観	市史編さん室	7 月 12 日	市立博物館	大貫英明	54
環境学習「星空と環境」	市立富士見小学校	7 月 12 日	市立富士見小学校	平能克泰	40
理科「夜空を見よう」学習	市立田名北小学校	7 月 15 日	市立田名北小学校	平能克泰	101

平成 20 年度相模原市立博物館年報

おやこ自然たんけん教室 「昆虫のことを知ろう」	座間市立東地区 文化センター	7 月 20 日	県立座間高校周辺	守屋博文	25
理科（星空観望会）の学習	市立上鶴間小学校	7 月 24 日	市立上鶴間小学校	平能克泰	264
目久尻川の生き物と環境	座間市教育研究所	7 月 25 日	目久尻川	守屋博文	13
アースシステム教育教員研修	麻布大学	7 月 31 日	市立博物館	河尻清和	13
夏の夜空の天体観測	市立青根中学校	8 月 2 日	市立青根中学校	平能克泰	65
アースシステム教育教員研修	麻布大学	8 月 8 日	市立博物館	河尻清和	15
親子体験・理科教育活動	市立陽光台小学校	8 月 9 日	市立陽光台小学校	平能克泰	150
相模原の遺跡	7 考会	8 月 12 日	市立博物館	河本雅人	15
夏の星空観望会	市立横山公民館	8 月 26 日	市立横山公民館	有本雅之	32
おやこ自然たんけん教室 「昆虫のことを知ろう」	座間市立東地区 文化センター	8 月 31 日	座間市立東地区文化 センター	守屋博文	15
月の観察、星の動き	市立弥栄小学校	9 月 9 日	市立弥栄小学校	平能克泰	74
相模原の自然	市立大野台中学 校	9 月 24 日	相模原自然の村 野外体験教室「相模 川ビレッジ若あゆ」	守屋博文	30
星が丘すずかけ学級「相模 原の地形・地質について」	市立星が丘公民 館	10 月 2 日	市立星が丘公民館	河尻清和	32
理科(天文) の学習	市立二本松小学校	10 月 3 日	市立二本松小学校	平能克泰	125
田名志民講座「田名の文化 と自然にふれて」	市立田名公民館	10 月 12 日	市立田名公民館	加藤隆志	25
麻溝さいかち学級（高齢者 学級）	市立麻溝公民館	10 月 16 日	市立麻溝公民館	大貫英明	70
田名志民講座「田名の文化 と自然にふれて」	市立田名公民館	10 月 18 日	市立田名公民館	加藤隆志	23
地歴学習	県立総合高校	10 月 24 日	県立総合高校	大貫英明	60
古民家園講座「困民党」	相模原市文化財 調査・普及員	10 月 26 日	古民家園	大貫英明	20
中津層の含ザクロ石火山灰	平塚市博物館	10 月 26 日	相模川	河尻清和	22
陣馬山で秋の草花を楽しもう	県立陣馬自然公 園センター	10 月 31 日	県立陣馬自然公園セ ンター	秋山幸也	14
田名志民講座「田名の文化 と自然にふれて」	市立田名公民館	11 月 2 日	市立田名公民館	加藤隆志	21
幕末明治の新磯地区	市立新磯公民館	11 月 6 日	市立新磯公民館	大貫英明	25
田名志民講座「田名の文化 と自然にふれて」	市立田名公民館	11 月 8 日	市立田名公民館	大貫英明	15
星空観察の学習	市立弥栄小学校	11 月 8 日	市立弥栄小学校	平能克泰	48
中ちゅう育学授業「原始時 代の津久井」	市立中野中学校	11 月 14 日	市立中野中学校	河本雅人	150
相模台を知る講座「相模台 の地形と集落の形成」	市立相模台公民 館	11 月 21 日	市立相模台公民館	加藤隆志	41
相模湖生きがい大学「酒ま んじゅうが示す地域文化」	市相模湖福祉課	11 月 26 日	市立相模湖老人福祉 センター	加藤隆志	22

平成 20 年度相模原市立博物館年報

相模台を知る講座「相模台を中心とした人々の生活」	市立相模台公民館	11 月 28 日	市立相模台公民館	加藤隆志	38
理科の学習	市立陽光台小学校	12 月 2 日	市立陽光台小学校	平能克泰	143
SPP 講座型学習活動	都立日野高等学校	12 月 20 日	市立博物館	河尻清和	11
相模野基線	相模原市文化財調査・普及員	12 月 21 日	橋本公民館	大貫英明	20
縄文土器について 第 1 回	相模原市文化財調査・普及員	1 月 8 日	市立博物館	河本雅人	11
SPP 講座型学習活動	都立日野高等学校	1 月 9 日	都立日野高等学校	河尻清和	8
色とカタチにこだわる自然観察－麻溝の池と林－	日野の自然を守る会	1 月 17 日	県立麻溝公園、横浜市水道局相模原沈殿地	秋山幸也	12
基地の学習会	神高教横浜中支部教研	1 月 18 日	市立博物館	大貫英明	23
星空観望会	市立桂北公民館	1 月 24 日	市立千木良公民館	平能克泰	30
理科（夜空を見よう）の学習	市立大沢小学校	1 月 27 日	市立大沢小学校	平能克泰	65
自然観察の活動	市立富士見小学校	1 月 28 日	市立富士見小学校	平能克泰	28
ふるさと再発見コース「地域文化をどう見るか 相模原の民俗との比較から」	秦野市教育委員会	1 月 31 日	秦野市立図書館	加藤隆志	46
冬の星空観望会	市立東林公民館	1 月 31 日	市立東林公民館	有本雅之	37
SPP 講座型学習活動	都立日野高等学校	2 月 5 日	都立日野高等学校	河尻清和	15
歴史散策講座	市立新磯公民館	2 月 8 日	市立新磯公民館	加藤隆志	17
縄文土器について 第 2 回	相模原市文化財調査・普及員	2 月 19 日	市立博物館	河本雅人	8
自然観察の活動	市立富士見小学校	2 月 19 日	市立富士見小学校	平能克泰	36
親子で見る冬の星空観望会	市立星が丘公民館	2 月 21 日	市立星が丘公民館	有本雅之	41
歴史散策講座	市立新磯公民館	2 月 22 日	市立新磯公民館	加藤隆志	16
入門講座「民俗の見方、調べ方」	横浜市歴史博物館	2 月 22 日	横浜市歴史博物館	加藤隆志	19
理科（夜空を見よう）	市立田名北小学校	2 月 26 日	市立田名北小学校	平能克泰	98
冬の星空観察会	市立横山公民館	2 月 28 日	市立横山公民館	有本雅之	12
講話「星と月」	相模原市立青少年相談センター	3 月 11 日	市立青少年相談センター相談指導教室「大地」	平能克泰	8
縄文土器について 第 3 回	相模原市文化財調査・普及員	3 月 12 日	市立博物館	河本雅人	12
自然環境観察員植物部会観察会「春の津久井城山」	相模原市立環境情報センター	3 月 19 日	津久井城趾城山	秋山幸也	12
入門講座「民俗の見方、調べ方」	横浜市歴史博物館	3 月 22 日	横浜市歴史博物館	加藤隆志	18

野生動物学セミナー「標本は語る－インベントリー調査における地域博物館の役割」	麻布大学	3 月 31 日	麻布大学獣医学部動物応用科学科	秋山幸也	20
--	------	----------	-----------------	------	----

※他に（継続的なものとして）	担当
相模原市市史編集委員会民俗部会	加藤隆志
相模原市市史編集委員会自然部会	守屋博文、秋山幸也、河尻清和
津久井町史編集委員会自然部会	守屋博文、秋山幸也
相模原市市史編集委員会考古部会	河本雅人
「県博物館協会機能研究部会幹事としての諸事業」	河尻清和
「神奈川県祭り・行事調査詳細調査員としての諸業務」	加藤隆志
「子どもが主体的に学び、科学が好きになるための教育システムの開発に関する実証的な研究」	河尻清和
愛川町新郷土資料館展示検討委員会	大貫英明
國學院大學文学部・兼任講師	加藤隆志
相模川ふれあい懇談会世話役	秋山幸也
相模川水系県民生物調査アドバイザー	守屋博文、秋山幸也
宮ヶ瀬ダム自然環境調査に関する懇談会	秋山幸也

1 1 市民との協働

（1）市民学芸員

ア 内 容 博物館活動に市民が参加する機会として、参加者を募集。前述の同講座により、博物館の基礎的な研修を受講した後、企画展、学習資料展等の展示準備作業と関連事業補助、クイズラリー運営等を実施した。

イ 登録者 28人

ウ 参加者 延べ 580人

（2）さがみはら水生動物調査会

ア 内 容 博物館で実施する相模川水系水生動物調査や資料整理、展示活動を協働で行うとともに、神奈川県が主体となって実施している相模川、酒匂川水系の水生生物県民参加調査にも参加し活動している。

イ 登録者 15人

ウ 参加者 延べ 52人

（3）相模原植物調査会

ア 内 容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 30人

ウ 参加者 延べ 323人

(4) 相模原地質研究会

ア 内 容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。企画展の準備を学芸員とともに行った。

イ 登録者 10人

ウ 参加者 延べ 90人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内 容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、企画展で展示活動を行った。

イ 登録者 8人

ウ 参加者 延べ 260人

(6) 民俗調査会 A (19年度結成)

ア 内 容 秋季企画展の準備として甲州道中のフィールドワークを実施して展示を行うとともに、関連事業として「甲州道中を歩く」を企画し、実際に調査会のメンバーが申し込みのあった市民を案内して甲州道中の一部を歩いた。企画展終了後には、「大山道を歩く」を企画・実施し、橋本から大山下社まで歩くフィールドワークを実施し、継続中である。

イ 登録者 17人 (平成20年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 239人 (毎月一回実施しているフィールドワークと10月に行った関連事業に申し込んだ市民の数の合計及びその他実際の活動での諸準備に参加した人数を含む。)

(7) 民俗調査会 B (19年度結成)

ア 内 容 21年度秋季企画展を視野に入れて「横浜への道」を実施し、相模湖駅前から横浜・関内地区まで旧神奈川道に沿って歩いた。この成果は、企画展「市民と歩いた横浜への道」の資料として活用する。

イ 登録者 31人 (平成20年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 332人 (毎月一回実施しているフィールドワークに参加した者及び実際の活動での諸準備に参加した人数を含む。)

Ⅲ 資料管理

1 博物館収蔵資料点数（平成 21 年 3 月 31 日現在）

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	5,454	箱	5,454
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,598	点	39,957
	歴史資料	生活資料収蔵庫	612	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	8,580	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	17,267	点	24,605
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,461	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,877	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	188	点	2,996
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	865	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,339	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	279	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	34,481
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	34,235	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	140	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	39,011	点	39,017
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,042	点	2,042
二次資料	図書	市民研究室等	36,989	点	40,753
	ビデオ・CD-ROM, DVD ソフト	情報サービスコーナー	397	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,367	点	
合 計			189,305	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化国際課扱）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	2,499
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	2,048	点	

館内収蔵市史資料(総務課市史編さん室扱)

分 野	分 類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考 古	考古資料	津久井郷土資料室	354	箱	969
		小原本陣・小原の郷	11	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴 史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,544
		尾崎罌堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	276	点	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	16,946
		小原本陣・小原の郷	402	点	
		城山郷土資料保管庫	571	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合 計			23,574	点	

2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
民俗	講中道具など市域の民俗資料の収集・整理
近現代	市域の近現代及び地理資料、特に生活及び軍事資料の収集・整理
動物	収集した動物資料の標本化及び種名の同定などの博物館資料として利用可能とする作業 適正な保管を目的とした点検及び同定ラベル補充などの整理作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理 政木淑人コレクション植物標本の整理
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理 寄贈資料（火山灰、故貝塚爽平氏研究資料）の整理・データベース化
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付されたパンフレット等の整理

3 購入資料

区 分	内 容
学術雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 2 2 種 (市民研究室、天文研究室で開架)
新刊書籍	市民研究室、天文研究室、情報サービスコーナーへの配架用として 6 2 冊。
ビデオソフト等	DVD ソフト 2 7 本
博物館資料	アライグマ骨格標本、タヌキ骨格標本ほか動物資料 7 点

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

8 月上旬及び 1 月中旬の 2 回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（アルプ）を用いた被覆くん蒸を実施した。

（新設）収蔵庫及び展示ケースのくん蒸

1 月上旬、収蔵・展示環境適正化のため動植物資料収蔵庫の密閉くん蒸及び、特別展示室移動展示ケースの被覆くん蒸をガス薬剤（アルプ）を用いて実施した。

(2) 有害生物調査

通年にわたり、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 80 件

資料	区分	利用期間	申請者	目的
昭和 31 年 米国陸軍撮影 空中写真	複写	4 月 8 日	市立星が丘公民館	刊行物掲載
藤澤次謙写真 他	転載	4 月 9 日	株式会社平凡社	刊行物掲載
解体新書	転載	4 月 10 日	株式会社平凡社	刊行物掲載
田名塩田遺跡群（石器）	館外貸出し	4 月 12 日 ～ 5 月 12 日	首都大学東京	研究資料
神輿（旧星が丘自治会所有）	閲覧	4 月 16 日	個人	資料調査
田名向原遺跡出土石器	撮影	4 月 17 日	市立橋本小学校	授業教材
30 年度事業報告・31 年度予算書・31 年度収支決算書他	閲覧	5 月 2 日	本町自治会	会史資料
兵器学教程	複写	5 月 23 日	個人	研究資料
航空写真	閲覧	5 月 29 日	市資産税課	行政利用
器台土器 他	撮影	5 月 30 日	個人	刊行物掲載
田名向原遺跡住居状遺溝出土品 他	撮影、閲覧	6 月 3 日	明治大学博物館	資料調査
田名向原 No. 4 遺跡遺構 写真	館外貸出し	6 月 17 日 ～ 10 月 5 日	藤沢市教育委員会	展示資料
2.5 万 地形図「原町田」H 元年 他	撮影	6 月 29 日	市立富士見小学校	授業教材
田名向原遺跡 炭化物	館外貸出し	7 月 1 日 ～ 10 月 31 日	国立歴史民俗博物館	研究資料
寺原遺跡出土土器・石器	館外貸出し	7 月 1 日 ～ 7 月 2 日	市文化財保護課	講演資料
航空写真	閲覧	7 月 3 日	市資産税課	行政利用
勝坂式土器	撮影	7 月 3 日	個人	研究資料
Hk-TAu-1 他	館外貸出し	7 月 3 日 ～ 7 月 17 日	首都大学東京	論文作成
橋本停車場設置陳情書添付図	閲覧	7 月 10 日	個人	講演資料
橋本遺跡出土石器 他	撮影	7 月 11 日	神奈川県埋蔵文化センター	資料調査
道祖神写真	撮影	7 月 15 日	個人	ホームページ掲載
相州東郡渋谷庄当麻郷野帳	撮影、閲覧	7 月 21 日	新宿歴史博物館	資料調査
天野望家寄贈資料	閲覧	7 月 26 日	尾崎行雄を全国に発信する会	研究資料
旧大沢村 村会議事録 明治 39 年 他	閲覧	7 月 26 日	個人	論文作成

平成 20 年度相模原市立博物館年報

関口栄吉氏 小山村絵図 他	閲覧	7 月 3 1 日	市立向陽小学校	教材研究
「蚕家産業乃図」フィルム 他	館外貸出し	8 月 1 日 ～ 8 月 1 5 日	茨城県立歴史館	展示資料 刊行物掲載
田名向原遺跡住居状遺構出土品 他	撮影	8 月 8 日 ～ 1 2 月 3 1 日	明治大学博物館	展示資料 刊行物掲載
田名向原遺跡住居状遺構出土品 他	館外貸出し	1 0 月 1 0 日 ～ 1 2 月 1 2 日	明治大学博物館	展示資料
『「田名向原」旧石器時代遺跡の調査』1 9 9 8 掲載写真	館外貸出し	8 月 8 日 ～ 1 2 月 3 1 日	明治大学博物館	展示資料 刊行物掲載
明治前期手彩色関東実測図	撮影	8 月 9 日 ～ 8 月 1 0 日	市市史編さん室	市史編さん 資料
服部行丸氏寄贈資料	撮影	8 月 1 9 日	一期会	資料調査
明治前期手彩色関東実測図	撮影	8 月 3 0 日 ～ 9 月 2 日	市市史編さん室	市史編さん 資料
相原村役場資料 NO. 1 3 7 表彰名簿	撮影、閲覧	8 月 3 0 日	市立向陽小学校	教材研究
生活改善クラブ 家の光 9 月号	館外貸出し	8 月 3 1 日 ～ 9 月 2 7 日	神奈川学園中・高等学校	展示資料
さおばかり	撮影	9 月 3 日	株式会社 アルピナ	刊行物掲載
唐箕	館外貸出し	9 月 9 日 ～ 1 1 月 2 8 日	市農林課	講座教材
アイロン (2 種)、ランプ、 行燈 他	撮影	9 月 1 2 日	市立中野小学校	授業教材
ヨツメトビラの写真 他	館外貸出し	9 月 2 0 日 ～ 1 月 2 5 日	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	展示資料
先祖書 他	閲覧	1 0 月 8 日	厚木市教育委員会	市史編さん 資料
相王鉄道線路略図写真 他	館外貸出し	1 0 月 11 日 ～ 1 2 月 1 5 日	厚木市教育委員会	展示資料
古淵 B 遺跡出土石器 他	館外貸出し	1 0 月 1 1 日 ～ 1 0 月 2 6 日	矢板市教育委員会	展示資料
相州東郡渋谷庄当麻郷野帳	館外貸出し	1 0 月 2 3 日 ～ 1 2 月 2 8 日	新宿歴史博物館	展示資料
サメの歯化石	館外貸出し	1 0 月 2 3 日 ～ 1 2 月 2 6 日	市市史編さん室	市史編さん 資料
矢掛・久保遺跡出土土器 他	撮影、閲覧	1 0 月 2 5 日	古代生産史研究会神 奈川部会	研究資料
四季山水図襖絵	館外貸出し	1 0 月 2 9 日 ～ 1 2 月 2 日	市文化国際課	展示資料
田名向原遺跡 No. 2 地黒曜 石原石 出土状態写真ポジ フィルム	館外貸出し	1 0 月 3 0 日 ～ 1 2 月 1 日	神奈川県教育委員会	展示資料 刊行物掲載
田名向原遺跡 炭化物	館外貸出し	1 1 月 1 日 ～ 4 月 3 0 日	国立歴史民俗博物館	研究資料

平成 20 年度相模原市立博物館年報

縄文土器破片 他	館外貸出し	11月8日 ～11月11日	女子美術大学	授業教材
道祖神写真、与瀬橋沢部落	撮影	11月11日	個人	ホームページ掲載
上中丸遺跡出土土器	撮影	11月11日 ～11月12日	個人	論文作成
田名塩田遺跡群 A 地区第 2 地点 1 号ブロックスライド 他	館外貸出し	11月12日 ～12月28日	市文化財保護課	展示資料
尋常小学 修身書 巻 1、巻 3 他	館外貸出し	11月15日 ～11月30日	市立南大野小学校	授業教材
田名向原遺跡 No. 2 地点出土黒曜石原石 他	館外貸出し	11月21日 ～2月13日	神奈川県教育委員会	展示資料
田名坂上遺跡出土三彩小壺	館外貸出し	12月2日 ～12月26日	綾瀬市教育委員会	展示資料
旧上溝町役場資料 他	撮影	12月4日	本町自治会	会史資料
ビデオ映像 月のクレター 他	館外貸出し	12月6日 ～3月1日	世田谷区教育委員会	番組制作
常設展示室 オオツノシカ等ジオラマ 他	撮影	12月10日	市文化財保護課	展示資料
上中丸遺跡土製品 他	館外貸出し	12月21日 ～12月23日	女子美術大学	授業教材
一遍立像写真	館外貸出し 模写	1月13日	株式会社 山川出版社	刊行物掲載
田名向原遺跡写真	掲載	1月14日	市市史編さん室	市史編さん資料
藤野町嵯峨遺跡 他	撮影、閲覧	1月15日	個人	研究資料
博物館常設展示解説書 p 14 図	転載	1月15日 ～1月22日	丸善株式会社	刊行物掲載
江ノ島 25000 分の 1 地形図 他	閲覧	1月17日	市立上溝南高校	授業教材
八ヶ岳ゴマシオ第 2 (MJB0301) 他	館外貸出し	1月17日 ～1月31日	立正大学	論文作成
1/2.5 万地形図「原町田」大正 11 年 他	撮影、閲覧	1月21日	市市史編さん室	市史編さん資料
「旧清水家住宅調査報告」ほか住宅調査報告一式	模写	1月21日	市文化財保護課	資料調査
小原宿清水家文書 他	撮影、接写 複写	1月22日	市文化財保護課	資料調査
1:25、000 地形図原町田.H 元 他	閲覧	1月22日	市立新町中学校	授業教材
田名向原遺跡 ポジ 他	館外貸出し	1月27日 ～2月27日	市文化財保護課	展示資料
常設展示室資料	撮影	2月6日	個人	論文作成

平成 20 年度相模原市立博物館年報

1 : 2 5 0 0 0 原町田 S 4 6 発行 他	閲覧	2 月 1 3 日	市立光が丘公民館	館資料
上溝町地番反別入図 S4 他	撮影	2 月 1 4 日	番田諏訪神社氏子会	社史編さん 資料
田名塩田遺跡群 A 地区第 2 地点 1 号ブロック接合資料	館外貸出し	2 月 1 5 日 ～ 3 月 1 5 日	市文化財保護課	展示資料
天然水晶写真 (ポジフィル ム)	館外貸出し	2 月 1 7 日 ～ 2 月 2 7 日	京セラキンセキ株式 会社	展示資料
津久井の絵葉書 他	撮影	2 月 1 8 日	個人	研究資料
田名西山遺跡リバーサルフ ィルム	館外貸出し	2 月 1 8 日 ～ 3 月 1 8 日	市文化財保護課	写真掲載
蚕友 第二号 (津久井蚕友 会大正四年)	掲載	2 月 2 7 日	市津久井町地域自治 区事務所	町史編さん 資料
大正 14 年 二万五千分の一 地形図 上溝 他	閲覧	3 月 2 8 日	個人	資料調査
「学徒動員資料」 (旧橋本 村 久保田昌孝氏寄贈資 料)	転載	4 月 1 日	海老名市教育委員会	市史編さん 資料
ポジ (下鶴間 Tpf1 No. 1 4) 他	掲載	4 月 2 日	市市史編さん室	市史編さん 資料

※平成 2 0 年度中に利用申請のあったもの。

IV 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
博物館運営 歴史資料の調査 大貫 英明	「博物館法改正と残された制度的課題」國學院大學博物館學紀要第 33 輯に発表 「大島榎戸講中所有文書について」博物館研究報告 18 集に発表
考古資料の調査 河本 雅人	大日野原遺跡発掘調査（中央大学との共同調査） 大日野原遺跡採集資料を整理し、成果を季秋企画展及び研究報告に発表
民俗資料の調査 加藤 隆志	津久井地域の祭礼・行事の調査を行い、その成果を秋季企画展に活用 民俗調査会とともに相模湖町から横浜市域までのフィールドワークを行い、その成果は 21 年度企画展に活用する予定
近現代資料 上原 徹也	津久井地域を中心に横浜水道関連の施設、及び資料を調査し、秋季企画展に反映させた。 貝塚地図の整理、データ化を進めた。
相模川水系の水生動物調査 動物類生息状況調査 守屋 博文	さがみはら水生動物調査会との協働により、相模川水系の水生動物を調査し、夏季企画展にその成果を反映させた。 津久井地域の哺乳動物を調査し、夏季企画展に活用した。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査 市内のカワラノギクなど希少植物を保全するための生育実験を行い、神奈川自然誌資料 30 号に発表 津久井地域の植物相について暫定的なリスト（第 2 報）を研究報告に発表
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺の秩父帯、四万十帯、丹沢層群、愛川層群、中津層群を調査し、成果を秋季企画展及び日本地質学会 115 年学術大会にて発表 町田氏寄贈の火山灰資料の調査
天文資料の調査 杉本 芳秋 平能 克泰 有本 雅之	ふたご座 YY 星の CCD 測光観測を実施した。 プラネタリウム学習番組の投影検証

V 展示改修

1 展示検討委員会

(1) 趣 旨

博物館常設展示の大規模改修にあたり、新市にふさわしい展示内容と新たな展示手法について検討する機関

(2) 委員構成 任期 2 年（平成 19 年 9 月 13 日～平成 21 年 9 月 12 日）

氏 名	備 考	選出区分
山 本 育 夫	NPO 法人つなぐ理事長	展示
鈴 木 良 明	神奈川県立金沢文庫長	委員長 人文
原 和 之	あじさい大学歴史科講師	
木 場 英 久	桜美林大学准教授	自然
安 川 源 通	NPO 法人里山津久井をまもる会理事	
若 宮 崇 令	川崎市八ヶ岳少年自然の家副所長	副委員長 天文
山 口 文 男	高等学校教諭	
今 井 正 巳	中学校教諭	学校教育
児 玉 哲 男	小学校教諭	
安 達 桂	一般公募	
永 田 基 浩		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	5 月 14 日（水）	展示計画案の協議 …博物館ネットワーク計画及びネットワーク市民センターについて
2	7 月 23 日（水）	展示計画案の協議 …展示計画案全体を見ての手法などについて
3	10 月 1 日（水）	展示改修基本構想、基本計画について
4	1 月 21 日（水）	博物館常設展示大規模改修事業に係る市長等への中間報告について

相模原市立博物館
発 行 平成 21 年 4 月 1 日
住 所 〒229-0021 相模原市高根 3-1-15
T E L 042-750-8030
F A X 042-750-8061
e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm